

株式会社ズーム・ティ

www.betta.co.jp

support@betta.co.jp

TEL: 03-3486-5300

よくある質問&困ったときに!

Betta

サポートブック

不思議なカーブの
「ドクターベッタ哺乳びん」



Doctor
Betta

商品の詳しい説明につきましては、各パンフレットをご覧ください。

不思議なカーブのワケは、実は小児科医の臨床データを基に生まれました。

赤ちゃんの病気を多く診ている小児科医の発案です。

多くの赤ちゃんが快適な授乳を受け、健康に育つ事ができれば、

それが何よりの家族の幸せです。

ドクターベッタ哺乳びんをお買い上げ頂いた全ての方へ、取り扱いにつきまして

このサポートブックをお届けしたいと思います。

快適にご使用いただくために、考案者の小児科医の思いをお伝えするために、

ぜひ、ご一読くださいませ。

その他、疑問な事や、分からない事、困った事がありましたら、お気軽に下記までお問い合わせください。

support@betta.co.jp

ベッタベビーストアのお問合せフォームが便利です。サイト内の「よくあるご質問」でもご案内しています。

お問合せフォーム

<https://www.betta.co.jp/contact/>



よくあるご質問

<https://www.betta.co.jp/contents/support/faq/>



Q.1 ドクターベッタ哺乳びんの素材とその特性について

A.1 ドクターベッタ哺乳びんには、下記の4種類の素材があります。

ガラス製

耐熱ガラス製



- ・傷がつきにくい
- ・耐熱温度120℃
- ・無色透明
- ・日本の職人の手作り

プラスチック製

PPSU製



- ・医療機器に使われる高級プラスチック素材
- ・耐熱温度180℃
- ・シックなはちみつ色
- ・衝撃に強い

トライタン製



- ・医療機器に使われる素材
- ・耐熱温度110℃
- ・無色透明

ポリプロピレン製



- ・コストパフォーマンスが良い
- ・耐熱温度120℃
- ・やさしいミルク色

プラスチック製は共通して軽く、燃やしてもダイオキシンが発生しません。また、安心のBPAフリーです。

Q.2 それぞれの素材の用途、注意点は？

A.2 ガラス製、プラスチック製にわけてまとめましたのでご確認ください。

ガラス製哺乳びんの用途

繰り返し長く使用しても傷がつきにくく、素材が劣化しにくいという特徴があります。主にご自宅での長期間のご使用におすすです。

注意点

- ・割れる
- ・プラスチック製に比べると重い

プラスチック製哺乳びんの用途

軽くて割れにくいという利点がありますので、赤ちゃんが自分で持つようになった時や、お出かけ時などの持ち運びに適しています。

注意点

- ・プラスチックは元来、塩素や酸には弱いという性質を持っています
- ・トライタン製は電子レンジ消毒NG
- ・薬液消毒でメモリが劣化することがあります

Q.3 シリーズは何があるの？

A.3 ドクターベッタ哺乳びんには、乳首の種類が2つあります。ブレインシリーズとジュエルシリーズです。乳首とキャップフードはシリーズごとに、カタチ・色・特徴に違いがあります。ボトル部分は全て共通です。

Brain (ブレイン) シリーズ



「助産師の声から産まれました」

助産師と研究開発した噛んでソシャクする乳首が付いています。母乳授乳のように、噛む、ソシャクすることの良い効果を新生児の時から身につけて欲しいとの願いから開発されました。歯科医の推薦も頂いた、歯の成長にも役立つ乳首です。フード部分は、キュートなハート、クローバー、星の形です。

※ボトルには「ブレイン乳首・クロスカット」が付いています。

Jewel (ジュエル) シリーズ



「ママの声から産まれました」

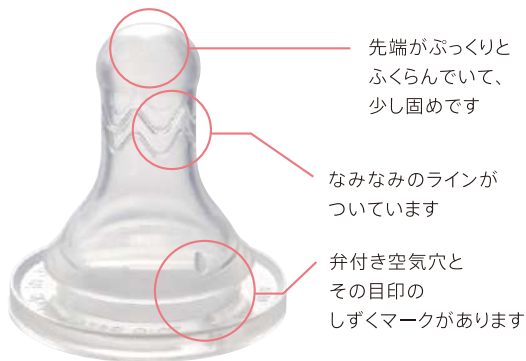
飲むことを一番に考え、飲みやすさを重視して作られたスタンダード乳首が付いています。フード部分はダイヤモンドカットで、赤ちゃんの未来が宝石のように輝き続けますように！との願いを込めました。

※ボトルには「スタンダード乳首・丸穴」が付いています。

Q.4 乳首のサイズ、選び方について教えてください。

A.4 ドクターベッタ哺乳びんの乳首は、それぞれ1サイズ。助産師が考えた「ブレイン乳首」とママの声から生まれた「スタンダード乳首」の2種類があり、どちらも新生児から卒乳まで使えます。また、穴の形状は、飲むことを重視した「丸穴」と吸う力によってミルクの量が変わる「クロスカット」の2タイプです。お子様の様子を日々見て、その赤ちゃんに一番適した乳首を選んであげてください。

ブレイン乳首



先端がふっくらとふくらんでいて、少し固めです

なみなみのラインがついています

弁付き空気穴とその目印のしずくマークがあります

ブレイン乳首は、助産師が考案しました。ママのおっぱいのように噛んでソシャクして飲むことを目指し、赤ちゃんが工夫しながら飲むよう考えられています。そのため、噛んでソシャクしなければミルクは出てきませんので、クロスカットで飲むのが難しい赤ちゃんには、ミルクが自然と流れ出る構造になっている丸穴乳首がおすすめです。丸穴が使えるようになったら、再度クロスカットをご使用ください。

ブレインシリーズのボトルに装着されているのは、「ブレイン乳首・クロスカット」です。

[ブレイン乳首] クロスカット ×

「ドクターベッタ哺乳びん ブレイン」シリーズに最初から付いています。赤ちゃんの成長に大切な力強いソシャクを促します。

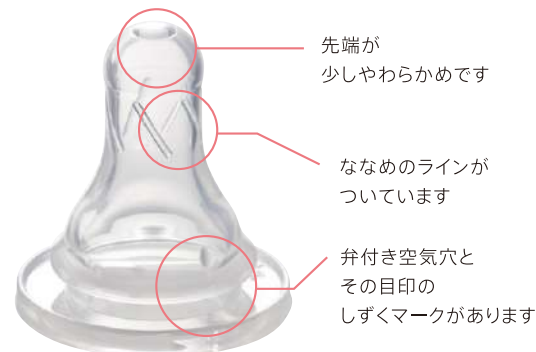
[ブレイン乳首] 丸穴 ○

クロスカットでは飲むのが難しい赤ちゃんや早く飲みすぎてしまう赤ちゃんにお試しください。

穴の形状について(ブレイン・スタンダード共通)

	丸穴 ○	クロスカット ×
先端の形式	○型	×型
月齢	新生児から卒乳まで使えます。	
特徴	先端に小さな丸い穴が空いていて、びんを傾けると少しずつミルクが流れ出てきます。赤ちゃんはミルクを舌に受けて、「飲む」という本能が目覚め、口を動かし始めます。	先端に×印の切れ込みが入っていて、赤ちゃんが吸うとミルクが出てきます。吸う力によって出てくるミルクの量が変わります。お茶や果汁にもおすすめです。

スタンダード乳首



先端が少しやわらかめです

ななめのラインがついています

弁付き空気穴とその目印のしずくマークがあります

スタンダード乳首は、「ミルクを飲むこと」を一番に考えたやわらかめの乳首です。丸穴乳首は「飲む」本能が目覚めるよう、口に含むと少しミルクが流れ出るようになっています。3ヶ月頃になってきたら、自立を目指すためにも、赤ちゃんが吸わなければミルクが出てこないクロスカット乳首への交換をおすすめします。一度に出てくるミルクの量は、丸穴に比べて多めとなっており、自分で考えながら出る量を工夫することを促します。

ジュエルシリーズのボトルに装着されているのは、「スタンダード乳首・丸穴」です。

[スタンダード乳首] 丸穴 ○

「ドクターベッタ哺乳びん ジュエル」シリーズに最初から付いています。ミルクを飲むことを重視した乳首です。

[スタンダード乳首] クロスカット ×

丸穴では物足りない赤ちゃんにお試しください。お茶や果汁・ジュースなどにもおすすめです。

Q.5 哺乳びんの大きさの選び方は?

A.5 哺乳びんは月齢に合わせて、ミルク・ジュース・白湯などいろいろとお使いいただけます。

ガラス製

耐熱ガラス製



80ml 150ml

プラスチック製

PPSU製



80ml 120ml 240ml

トライタン製



120ml 240ml

ポリプロピレン製



120ml 240ml

※他のカラーもございます。詳しくはパンフレットをご覧ください。

小さいサイズ

ガラス製 — 80ml, 150ml

プラスチック製 — 80ml, 120ml

大きいサイズ

プラスチック製 — 240ml

生まれてすぐから、3ヶ月くらいまではまだミルクの量が少ないので、小さいサイズの哺乳びんでよいでしょう。母乳育児をしているママでも、搾乳した母乳を哺乳びんに入れてパパに授乳をお手伝いしてもらおう等の使い方もございます。徐々に哺乳びんにも慣れてもらうとよいでしょう。

月齢が4ヶ月くらいになると、ミルクの量も増えて1回に200mlくらい飲むようになるお子様もいるので、大きいサイズの哺乳びんが便利です。以降卒乳までの間ずっと使用しますので、大きいサイズは主にミルク用として長く使用することが多いでしょう。

Q.6 哺乳びんの洗い方はどうすればいいの?

A.6 赤ちゃんが飲んだ後の哺乳びんは、できるだけ早く水につけ、必ずよく洗浄した上で消毒をしてください。洗浄剤をブラシにたらし、ボトルの中(特に底部分の四隅)を念入りに洗いましょう。ミルクには油が多く含まれています。油を残さないようしっかり洗浄してください。特にトライタン製哺乳びんは、消毒の前の洗浄が十分でなく、ミルクの油分がボトルの内部に残っていると、ご使用を続けるうちに白濁してしまうことがありますのでご注意ください。



シュガーウォッシュ

ドクターベッタ哺乳びんには専用洗浄剤「シュガーウォッシュ」があります。さとうきびと椰子から抽出した天然の植物油が主成分で、無添加、無香料、無着色、合成界面活性剤不使用の洗浄剤です。こちらをお使いいただくことをおすすめします。



白馬毛ブラシ

洗浄ブラシにはプラスチック製哺乳びんを傷つけず、ガラス製にもお使い頂ける「白馬毛ブラシ」をご使用ください。馬毛のしなやかさと弾力性により、ベッタの独特なカーブや角まできれいに洗うことができます。

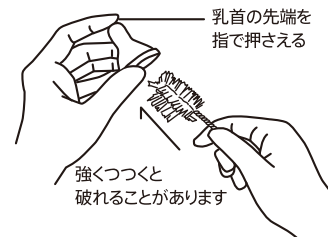
乳首は非常にデリケートです。乳首の先端や空気弁を洗うときは、やさしくもみ洗いしてください。乳首のお手入れには「乳首用ブラシ」と「専用ハートピン」が便利です。



乳首用ブラシ

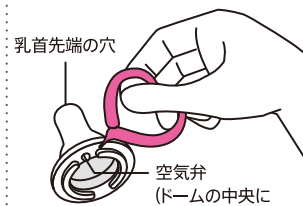


専用ハートピン



乳首の先端を
指で押さえる

強くつつくと
破れることがあります



乳首先端の穴

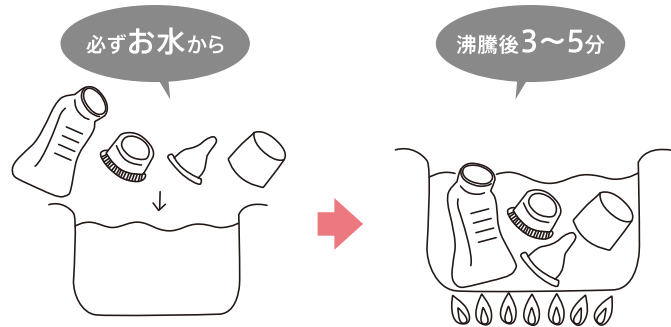
空気弁
(ドームの中央に
切れ込みがあります)

Q.7 消毒方法を教えてください。

A.7 洗浄後の消毒方法は、各素材によっておすすめの方法が異なります。

①煮沸消毒について

「ドクターベッタ哺乳びん」は、全素材のボトルに安心・安全・経済的な煮沸消毒をおすすめしています。



必ずお水の状態から全ての部品を煮沸してください。たっぷりの水量で煮沸しないと、割れたりナベのふちについて変形する恐れがあります。

②薬液消毒について

薬液消毒には、哺乳びん・乳首専用の消毒液をご使用になり、各取扱説明書に従ってください。

※当社では消毒薬液は販売しておりません。

※薬液消毒により、印刷の色が薄くなったり、変色したりすることがありますのでご注意ください。

トライタン製哺乳びんについてのご注意

※電子レンジ消毒はできません。

※よく洗浄して、ミルクの油分を十分落としてから消毒してください。

まれに、油分が残っているとボトルが白く濁ることがあります。

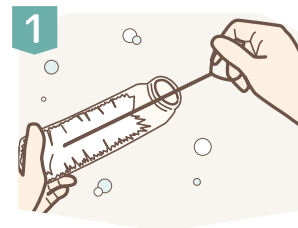
※薬液消毒と煮沸消毒を併用する場合は、薬液を十分洗い流してから煮沸をしてください。

まれに、ボトルが白く濁ることがありますが、安全上は問題ございません。

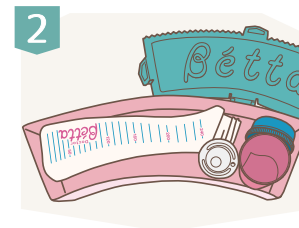
③電子レンジ消毒について

ドクターベッタ哺乳びん専用 電子レンジ消毒用ケース「Curveカーブ」をご使用ください。

[ご使用方法]

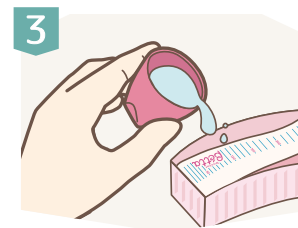


ご使用後、哺乳びん、乳首、キャップフードを洗浄剤で洗う。洗浄にはドクターベッタ哺乳びん専用の白馬毛ブラシとシュガーウォッシュがおすすめ。

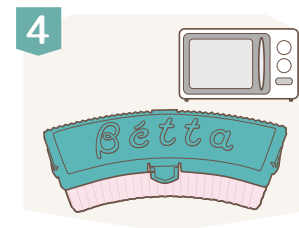


汚れ・洗浄剤を水でよくすすぎ落とし、付着物がないか確認した後、ケースに哺乳びん、乳首、キャップ、フードをバラバラにして入れる。

カンタン
消毒
4step!
3分



フードに水を8分目ほど計り、それを本体ケース内に入れる。



本体ケースにフタをセットし、500～600Wの電子レンジで消毒時間をセット！消毒時間は約3分。火傷には十分ご注意ください。

※トライタン製哺乳びんは電子レンジによる消毒はできません。

※他社製の電子レンジ消毒器を使用する場合は、各種消毒用品の取り扱い方法に従ってください。

Q.8 ブレイン乳首で飲めないのですが…

A.8 ブレイン乳首は助産師さんと研究開発した乳首で、噛む、ソシャクする事を目指し、ママのおっぱいを理想として考えられた乳首です。ママのおっぱいは、「乳首をくわえて、乳首を引っ張り出し、そして舌と上アゴでしごいて吸って飲む」という行動をしなければ飲むことができません。ブレイン乳首もママのおっぱいのように、噛む、ソシャクするという行動を促すようにつくられています。新生児は本能的にできる行為なのですが、一度楽な乳首で飲んだ赤ちゃんにとっては少し難しいことかもしれません。その場合は、ブレインの丸穴乳首を一度試してみてください。丸穴乳首は、吸う力の弱い赤ちゃんでも飲めるよう、ボトルを傾けるとミルクが自然と流れ出る構造になっています。しばらく丸穴をお使いいただき、ブレイン乳首に慣れた頃に再度クロスカット乳首を試していただくといいでしょう。あまり無理強いしないで、ゆっくりとお試しいただくことが大切です。クロスカット乳首はジュースやお茶の時にも使えますので、捨てないで大切に保管しておいてください。

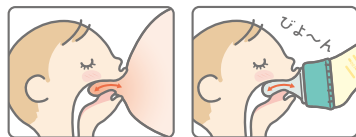
Point 1 飲む乳首から、噛む乳首に

ブレイン乳首はソシャクする(噛む)ことの大切さを考えて大きくお口をあげ、上アゴと下アゴをしっかり上下させて、ママの乳首のように飲む構造になっています。



Point 2 ママの乳首のように、のびーる乳首

ママのおっぱいは赤ちゃんが吸うと伸びて赤ちゃんのお口と舌にフィットするようにできています。そんな乳首を目指しました。



飲んでいる時の
ママのおっぱいと
乳首のカタチ

飲んでいる時の
ブレイン乳首

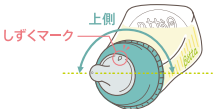
Q.9 乳首がつぶれてしまってミルクが飲めません。 どうしたらいいですか?

A.9 乳首の素材であるシリコーンは、素材同士が密着しやすいという特性を持っています。通常、赤ちゃんが乳首を吸うと乳首の底辺裏側にあるドーム型の空気弁から空気が入り、ミルクが出てきやすい仕組みになっています。(ドームの中央に切れ込みが入っています)シリコーン素材の特性上、この空気弁の切れ込みが張り付きやすく、空気がうまく入らずに乳首がつぶれるという現象が起こります。洗浄する際に指や専用のハートピンを使って、この空気弁と乳首先端の穴を開きやすくしてあげてください。空気弁の働きがスムーズになり、乳首のつぶれが起きにくくなります。



原因	対処方法
乳首に劣化は起こっていませんか?	乳首は1~2ヶ月のご使用で劣化が起こり、素材の特性上、密着しやすくなります。新しいものに取り替えましょう。
吸い穴や空気弁が目づまりしていませんか?	吸い穴と通気孔にミルクかすなどがつまっていないか確認しましょう。乳首の底辺にある空気弁や乳首先端の穴(丸穴・クロスカット)をハートピンで軽くつつくようにして開いてください。ご使用前には毎回、空気弁をハートピンでやさしくお手入れしましょう。
キャップを正しく締めていますか?	強く締めすぎたり、緩すぎたりすると、空気の循環を悪くします。キャップの締め具合を調整してみましょう。

Q.10 ミルクが漏れてきてしまいます。どうしたらいいですか?**A.10** ミルク漏れの原因と対処方法について、下記にまとめましたのでご参照ください。

原因	対処方法
乳首に劣化は起こっていませんか?	乳首は1~2ヶ月で劣化が起こってきます。新しいものに取り替えましょう。
キャップを正しく締めていますか?	キャップをボトルに装着する時はゆっくり締めてください。締め具合がきつすぎたり、緩すぎたりすると、ミルク漏れにつながりやすくなります。乳首の底辺の凸が、ボトルの口内部に収まるようにセットしてください。
乳首はきちんとセッティングされていますか?	ドーナツ型のキャップ部分と乳首をセッティングする時は、しっかり定位置にセットして下さい。"パチン"というのが目安です。また、乳首の「しずくマーク」を傾けた哺乳びんの上側になるようにセッティングすると、ミルク漏れが解決する場合があります。 
乳首を乾かさずにセッティングしていませんか?	乳首を洗った後、よく乾かしてからセッティングしましょう。乳首の外側がぬれていると、もれを引き起こすことがあります。

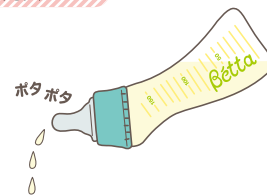
Q.11 調乳後、哺乳びんを傾けると勢い良くミルクが出てきてしまいます。不良品でしょうか?**A.11** 温かいミルクがびんに入ることにより、哺乳びん内で空気が膨張し、外へ押し出そうとする力が働きます。特に丸穴乳首は、哺乳びんを傾けると自然にミルクが流れ出るように作られていますので、ミルクが飛び出すことがあります。不良品ではありません。対処方法として、下記をお試ください。

適温にミルクを冷ました状態で、キャップを締める。

調乳後、流しなどでしばらく哺乳びんを傾けると、ミルクの勢いが徐々におさまってくるので、そのタイミングで赤ちゃんにミルクをあげる。

Q.12 乳首はどれくらいの頻度で交換すればいいのですか?**A.12** 赤ちゃんはひとつの乳首に慣れると、新しい乳首を嫌がることがあるので、哺乳びんを購入する時に、替乳首を3~4個揃えていただくことをおすすめしています。それを交互にお使いください。使っていくうちに、どれも同じようにやわらかくなり、赤ちゃんのお口に馴染んでいきます。そして、1~2カ月ご使用いただいたら、順に1つずつ新しいものに交換してください。ひとつの替乳首をずっと使用しますと弾力がなくなったり破損しやすくなります。長持ちさせるためにも複数を交互にご使用いただくことをおすすめします。そうすることで、突然、吸い穴が大きくなったり、劣化が起こった場合にも、同じ状態の替えがあると安心です。やわらかくなった乳首で慣れていたのに、急に新しく少し硬めの乳首が口の中に入ってきたら、赤ちゃんはとまどうことでしょう。早めに用意していただき、交互に使っていただくことをおすすめします。**Q.13** クロスカット乳首の時はミルクの温度はどうやって調べればいいのか?**A.13** 丸穴乳首の場合は、ボトルを傾けるとミルクがポタポタと垂れてくるので、それを腕の内側に落として、熱く感じない程度が適当です。クロスカット乳首の場合は、ボトルを傾けてもミルクが出てこないのを、調乳後のボトルの温度で確認してみてください。事前に、最適なミルクの温度は、ボトルの熱さがどれくらいなのかを手のひらの感覚で覚えておくといいでしょ。

丸穴



クロスカット



Q.14 ガラス製哺乳びんに気泡が入っていますが、不良品ではないのですか?

A.14 ドクターベッタ哺乳びんの耐熱ガラス製は、日本の職人が1本1本手作りで作っています。高温の炉内でドロドロ溶けているガラス素材を専用の棒を使いすくい出します。それを1つ目の金型に入れ、再度、2つ目の金型に入れたあと、空気を入れ、金型から外すとドクターベッタ哺乳びんのカタチになり、ボトルができていきます。このような、手作りにおける工程上、やむを得ず小さな気泡が入ることがありますが不良品ではございません。問題のない泡の大きさなど、厳しく検査基準を決め、出荷までに専門家の鋭い目で何度も何度も全品に検品を行っています。通常のご使用では強度や安全に対しての問題はありませんのでご安心ください。万が一、3mm以上の気泡や大きなキズがございましたら、ご使用をお控えいただき、すぐにお客様窓口までお問い合わせください。

手作りにおける工程上、やむを得ず小さな気泡や巻きとったガラスが固まる際に大きく波打つような曲線の筋が見られることもありますが不良品ではございません。通常のご使用で強度や安全に対しての問題はありませんのでご安心ください。



耐熱ガラス製「ドクターベッタ哺乳びん」は、職人の完全手作り品!

全て日本製100%
手づくりの哺乳びん



一番重要なガラスの巻き取り作業

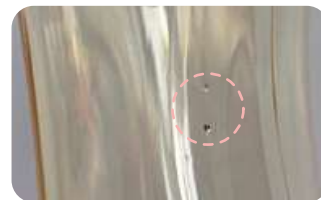


成型機に流し入れて大まかな形を作る

撮影:ノゾワトシアキ/記事:ママボケvol.7より転用

Q.15 PPSU製の哺乳びんに黒い点があります。不良品ではないのですか?

A.15 PPSU製の哺乳びんに、まれに小さな黒点が浮かぶものがございます。この黒点は、原料を製造する過程でやむを得ず変色したものが混じたものであり、決して有害なものや不衛生なものではございません。ご使用上何ら問題はございませんので、安心してお使いください。



プラスチック製「ドクターベッタ哺乳びん」も大量生産不可

全て日本製100%
手づくりの哺乳びん

優れた職人技で、PPSU、トライタン、ポリプロピレンの三種類のプラスチック製「ドクターベッタ哺乳びん」が製造されています。一般的に「プラスチックは大量生産している」というイメージですが、この不思議な哺乳びんのカタチは大量生産が難しく、難易度の高い製造方法を取らざるを得ない現実があります。1本1本機械の製造作業工程を見守り、おおまかなカタチにでき上がった商品を、職人による丁寧な作業で完成品へと作り上げていきます。品質を守りながらコツコツと製造を続けてくださる姿に、「未来を担う子供たちのため」という思いを感じる事ができます。



商品のでき具合を厳しい目で細かくチェック。



カットした後の処理。丁寧な手作業でバリを完全に取りきる。

調乳についてのご注意

ミルクを入れ、煮沸後少し冷ましたお湯(70℃以上)で溶かします。
そのあと、適量まで煮沸後の湯冷まし[※]を入れるとやけどの心配が少なく、冷ます時間も短くなります。
熱湯のお取り扱いには十分ご注意ください。

※湯冷まし…飲用水を一度沸騰させ、自然に冷ましたもの

★冷まし方のポイント

ミルクを授乳適温まで冷ます際には、流水や水を張ったボウルなどの中でゆっくり冷まして下さい。ガラス製哺乳びんは急激な温度変化に非常に弱く、氷水などでの急冷は破損の原因になりますのでおやめ下さい。またプラスチック製(PPSU、トライタン、ポリプロピレン)哺乳びんも急激な冷却は劣化を早めますので、お控え頂いた方が長くご使用頂けます。

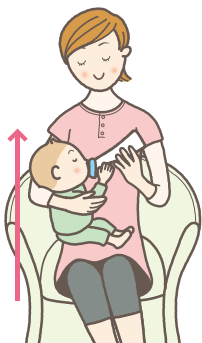
授乳について

ドクターベッタ哺乳びんは、ママのおっぱいを飲む姿勢でミルクを飲ませてあげることができます。
赤ちゃんはなるべく上体を起こして抱っこし、哺乳びんは弓なりに上を向くよう傾けてミルクをあげましょう。



Not good!

頭を寝かせて
飲む姿勢



Good!

ママのおっぱいを
飲む姿勢



最後に

ここまでお読みくださり、
誠にありがとうございます。
ここに記載されている対処方法をお試しになられても解決できない場合は、
ご遠慮なく、
[support@betta.co.jp] まで
ご連絡くださいませ。

生まれたての赤ちゃんにも
それぞれしっかりと個性があり、
その赤ちゃんに合った、
幾通りもの子育てがあります。
わからないこと、不安なことなどありましたら、
一緒に解決していきましょう。
これからも、ずっと、ベッタは
子育てに頑張るママ・パパの味方です。
一人で悩まれないように、
私たちにご相談ください。